

プログラム紹介 ～作曲者の心を感じながら～

現代の聖歌

現在活躍中のDubraとGjeiloの作品から美しい作品をお届けします。そして同じテキストでの日本語典礼聖歌をご紹介します。高田三郎氏作曲による典礼聖歌は教会に留まらずステージで演奏される機会も増えてきましたが、祈りの心で歌いたいと思います。



フォスター名曲集

古くから親しまれ歌われてきた曲の数々。今回お届けするのは、没後150年を迎えた2014年に初演されたもので、ピアノもアイデアに溢れた素敵なアレンジとなっています。「アメリカ音楽の父」と呼ばれるフォスター、「元祖USA!」、いつでも元気な重松秀子の指揮でお送りします。

草の上

2018年全日本コンクールの課題曲。ピアノの困難さと面白さ、両方のインパクトがある作品を竹内佳代さんの力を借りて演奏することができました。縁あって作曲の首藤健太郎先生にも演奏を聴いていただくことができ、「よく考えられた凄い演奏でした」と、むりやりお褒めの言葉をいただきました。

雨ニモマケズ

作曲家・鈴木憲夫先生が構想から20年をかけた渾身の作品であり、「いつしか、宮澤賢治の生き方そのものこそを音楽で表したくなった」とも語っておられます。楽音樹は昨年「般若心経」に続いての鈴木作品。今年も先生にアドバイスいただくことができました。日本人の心ともいえる賢治のこぼれ、「泣きの憲夫節」が炸裂です。

わたしの願い

日本で最も愛されてきたであろう合唱曲「水のいのち」の高野喜久雄・高田三郎両氏のコンビによる最初の作品です。真実を見つめ、本当の言葉や論理、高みを求める心。初演から半世紀以上経過した今も、色褪せることのない名曲です。楽音樹は2月、高田作品演奏の第一人者、この曲の男声版編曲者でもある須賀敬一先生によるレッスンを予定しており、この曲の本質を学び真髓に近づきたいと思っています。
(常任指揮者 森井 淳)

客演ピアノ 竹内 佳代

桐朋学園大学ピアノ科卒業。ピアノを大坪亮子、川島伸達、松本清、伴奏法を松本明子の各氏に師事。在学中に第3回中部ショパン学生コンクール大学生部門金賞・中日賞受賞。これまで富山・浜松・名古屋でリサイタルを開催。ソロ活動、室内楽、伴奏など幅広い演奏活動を展開。



楽音樹の第8回演奏会では、山下祐加作曲のピアノソロ版「七色の風」を初演。

「作曲家との出会い2018」

この1年間で、3人の作曲家の先生が楽音樹の演奏を聴きに足を運んでくださいました。第8回演奏会では、人気の山下祐加先生をゲストでお迎えしましたが、アンコールでは団員と一緒にステージで歌っていただきました。この日は、サプライズで鈴木憲夫先生もご来場。打ち上げはお二人を交えて賑やかなものとなりました。コンクール中部大会では課題曲作曲の首藤健太郎先生が豊田市まで来てくださり、楽音樹の演奏直後にロビーで合流、記念撮影も！作曲者を身近に感じ、作品にも近づけた気がします。



合唱団「楽音樹」 (代表 津田 朋信)

平成21年1月に結成し、富山市を中心に活動中。年齢もさまざま、皆で成長しながら高みをめざしています。技術的にはまだまだ未熟ですが、「感動」にこだわり、まずは自分たちが曲を愛してベストを尽くします。

これまで、コンサートやコンクール出場の外、校歌や富山県「ふるさとの空」CD録音も行いました。「楽音酒(打ち上げ)」も楽しいですよ！



団員募集！

～新しい仲間 いつでも歓迎です～
歌いたい気持ちが目覚めたら
見学・問い合わせ・日程の確認を
ホームページからどうぞ

www.gakuonju.com

がくおんじゅ

info@gakuonju.com

